

ア. 地元産業界等との地域の課題解決に向けた連携事業

【令和6年度】

事業名	波佐見町・大学連携「子育て・親育ち講座」
連携先の組織名称	波佐見町役場 (担当部署：子ども・健康保険課子育て支援班)
本学の対応組織	地域連携推進委員会 (担当：委員会代表教員、総務・会計課)
地域課題のテーマ	波佐見町の子育てや家庭教育の支援と地域教育力の向上
課題解決に向けた本学への具体的な要望事項	子育て中の方、これから出産する方、家庭教育や子育てについて学びたい方を対象とした講座の実施。 【令和6年度 波佐見町の現状】 ①早期より保育所に預けて仕事をしている家庭が増えている（子育て支援センター利用者が減っている） ②父親の子育て参加促進を図りたい
課題解決に向けた設定目標	①離乳期・幼児期の栄養について理解を深め、栄養価が高く、バランスの取れたレシピを知る事で、子どもの栄養面の不安解消を図る。また、そのようなレシピを時短調理できる方法等を実習形式で知る事で、共働き家庭においても、栄養面の不安解消の一助となる。 ②子どもとの触れ合い活動（演習）を含めた父親参加型の講座を実施し、父親が子育てに参加しやすい場を作る。
課題解決に向けて実施する取組内容	「子育て・親育ち講座」の開催 第1回：令和6年8月3日（土） 第1部 「体を動かす遊びと運動発達について」 第2部 「親子で一緒に運動遊び！」 ※子どもとの触れ合い活動（演習）を含めた父親参加型講座 第2回：令和6年10月22日（火） 第1部・第2部合同（講話20分、調理実習60分） 「離乳食について知ろう！」 ※ 離乳食に関する調理実習（試食有） 第3回：令和6年11月7日（木） 第1部 「スクイグル～なぐり描き法～」 第2部 「手作りおもちゃで一緒にあそぼう」 ※保育に関する講義及び演習
相手先と本学との協議体制と協議実績	連携協議会（年2回実施） ①事前協議：令和6年5月15日（水） ②事後報告会及び次年度協議：令和6年12月予定
地域へのフィードバック体制	本学にて事業報告書を作成し、波佐見町へ提出。本学HPや波佐見町広報誌等を通じて地域に発信（フィードバック）する。
事業の評価体制	各講座ごとに参加者アンケートを実施、結果を事後報告会にて共有し、講座についての評価（意見や講評）を波佐見町から受ける。評価（意見や講評）は地域連携事業推進委員会にて共有し、次年度の連携事業につなげる。